

作成日: 2022年12月8日

改訂日(V.1C): 2023年8月7日

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: カラットフロアブル

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名: 日本農薬株式会社

住所: 〒104-8386 東京都中央区京橋 1丁目19番8号 京橋OMビル

担当部門: 環境安全・品質保証部

TEL. 050-3490-3494

e-mail: kankyouanzen@nichino.co.jp

緊急連絡電話番号:(平日) 050-3490-3494 (環境安全・品質保証部)

(休日、夜間) 04-2929-8961 (ALSOK)

推奨用途及び使用上の制限: 農薬(除草剤)、農薬登録の範囲外の使用は不可

SDS番号: 506-27(M22-12)

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類

環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分1
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分1

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	警告
危険有害性情報	水生生物に非常に強い毒性 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- 環境への放出を避けること。

【応急措置】

- 漏出物を回収すること。

【保管】

- 施錠して保管すること。

【廃棄】

- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事等の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

他の危険有害性: 特に無し。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

成分及び含有量：

成分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
イマズスルフロン	1.7%	122548-33-8	8-(2)-1519	—
テフリルトリオン	3.8%	473278-76-1	8-(4)-1711	—
ピラクロニル	3.8%	158353-15-2	8-(1)-3328	—
〈その他〉				
水、界面活性剤等	残	—	—	—

### 4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い場合、身体に異常を感じた場合には医師の診断／手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類を脱ぎ、付着又は接触部を多量の水と石けんで洗浄する。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断手当てを受ける。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は医師の診断／手当てを受ける。

飲み込んだ場合：口を水で十分にゆすぎ、直ちに医師の診断／手当てを受ける。無理に吐き出させない。

応急措置をする者の保護：救助の際は保護具を着用する。換気が不十分な場合は呼吸用保護具を着用する。取扱い後は手、腕、顔を洗う。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤：霧状水、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、乾燥砂

使ってはならない消火剤：

棒状注水

火災時の危険有害性分解生成物：

混触危険物質（「10. 安定性及び反応性」参照）に留意して、適切な冷却手段にて容器を冷却する。燃焼ガス及び又は分解ガスには、刺激性、腐食性及び又は毒性のガスが含まれるおそれがある。火災の際は有害なガス（「10. 安定性及び反応性」参照）が発生し、めまいや窒息や健康被害を引き起こすおそれがある。消火水中に有害物が含まれ、環境や生物に影響を与えることがある。

特有の消火法：火災発生場所より退避させる。火災の場合、安全に対処できるならば漏えいを止める。適当な距離から注意して消火する。

消火時の保護具：適切な保護具、防火服／防炎服／耐火服を着用する。換気が不十分な場合は呼吸用保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者

応急処置： 区域より退避する。不要な職員を退避させる。消防署、環境当局に通知する。

緊急対応者

保護具： 適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措」参照）を着用して、飛沫等の眼や皮膚への付着や、粉じん、ミスト、蒸気の吸入をしないようにする。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項:

漏出物や洗浄水等が河川、下水等に流出し、環境へ影響を与えないように措置する。下水道や公共用水域への流出を防ぐ。流出した場合は、行政に通知する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

漏出物を乾燥砂、ウェス等に吸収させ、密封できる容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

二次災害の防止策:

すべての着火源(熱/火花/裸火/高温表面/静電気放電など)を取り除く。排水溝、下水溝、地下室、くぼ地あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策: 全ての漏れを避け、密閉された、特別な装置を使う。換気の良い場所で取り扱う。屋内で取り扱う場合は局所排気、全体換気を行う。取扱い時には火気を遠ざけ、静電気対策を講じる。

安全取扱注意事項: 粉じん/ミスト/蒸気の吸入を避ける。眼、皮ふ、衣類に付けない。指定された個人保護具を着用する。十分に換気し、粉じん/蒸気の濃度を最小限に抑える。静電気の発生を防止する。

接触回避: 混触危険物質(「10 安定性及び反応性」参照)から離しておく。

衛生対策: この製品を使用する時は、飲食または喫煙をしない。汚染された作業衣は作業場から出さない。再使用する場合は、洗濯をする。取扱い後は眼、手、顔を洗い、うがいをする。

保管

安全な保管条件: 容器を密閉し、直射日光を避け、乾燥した換気のよい冷暗所に保管する。容器の移し替え、容器の再利用は行わない。食品や飼料と切離し、小児の手の届かない所に保管する。

安全な容器包装材料:

破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

ベントナイト(CAS 番号: 1302-78-9)	
日本産業衛生学会	【粉じん許容濃度】(第1種粉じん) 吸入性粉じん 0.5 mg/m <sup>3</sup> 総粉じん 2 mg/m <sup>3</sup>
ACGIH	TWA 1 mg/m <sup>3</sup> (R)、STEL -

設備対策: 作業場の十分な換気を確保する。屋内使用の場合、装置を密閉化し、局所排気装置又は全体排気装置を設置する。取り扱い場所の近くに、シャワー・洗眼器を設置することが望ましい。

保護具

呼吸用保護具: 防じんマスク、農薬用マスク、防毒マスク等

手の保護具: 不浸透性保護手袋

眼の保護具: ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具:

個人用保護具(PPE)は、適切な保護具を使用する。帽子、靴、合羽等を含む適切な不浸透性保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	粘稠懸濁液体
色:	淡褐色
臭い:	データ無し。
融点/凝固点:	データ無し。
沸点又は初留点及び沸点範囲:	データ無し。
可燃性:	データ無し。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	データ無し。
引火点:	データ無し。
自然発火点:	データ無し。
分解温度:	データ無し。
pH:	4.8
動粘性率:	データ無し。
溶解度:	データ無し。
n-オクタノール/水分配係数:	データ無し。
蒸気圧:	データ無し。
密度及び/又は相対密度:	1050 kg/m <sup>3</sup>
相対ガス密度:	データ無し。
粒子特性:	データ無し。
粘度:	データ無し。

## 10. 安定性及び反応性

反応性:	データ無し。
化学的安定性:	通常の保管条件下で安定
危険有害反応可能性:	データ無し。
避けるべき条件:	データ無し。
混触危険物:	データ無し。
危険有害な分解生成物:	知られていない。燃焼すると有害なガス(CO、NO <sub>x</sub> 等)が発生する可能性がある。

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口):	ラット LD <sub>50</sub> 値 (mg/kg)	♀	>2000
急性毒性(経皮):	製剤のデータ無し。		
急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト):	製剤のデータ無し。		
皮膚腐食性/刺激性:	ウサギ		刺激性なし。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	ウサギ		刺激性なし。
呼吸器感作性:	データ無し。		
皮膚感作性:	モルモット		感作性無し。
生殖細胞変異原性:	製剤のデータ無し。		
発がん性:	製剤のデータ無し。		
生殖毒性:	製剤のデータ無し。		
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	製剤のデータ無し。		

特定標的臓器毒性(反復ばく露):  
製剤のデータ無し。  
誤えん有害性: 製剤のデータ無し。

## 1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性): 区分 1  
水生環境有害性 長期(慢性): 区分 1

生態毒性:

コイ	LC <sub>50</sub> 値/96h (mg/L)	233
オオミジンコ	EC <sub>50</sub> 値/48h (mg/L)	431
緑藻	ErC <sub>50</sub> 値/72h (mg/L)	0.0701
	NOEC (mg/L)	0.0316

残留性・分解性: 製剤のデータ無し。  
生体蓄積性: 製剤のデータ無し。  
土壌中への移動性: 製剤のデータ無し。  
オゾン層への有害性: 製剤のデータ無し。オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書(改訂版) リストに記載なし。

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 使用残農薬及び付着農薬を除去した空容器を廃棄する場合は、次のいずれかの方法で適切に処理する。  
・農家等使用残農薬及び空容器の排出事業者自身で、許可を受けた廃棄物処理業者に処理を委託する。  
・市町村が回収・処分しているところでは、定められた方法に従う。  
・使用残農薬及び空容器を地域共同で適正に回収処分する体制が確立しているところは、そのシステムで処分する。  
汚染容器及び包装: 空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処理する。使用済み容器及び散布器具等の洗浄液は農薬散布液調製に用いるなど、圃場内で処理する。

## 1 4. 輸送上の注意

国連番号: 3082  
品名(国連輸送名): ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S.  
(imazosulfuron and pyraclonil mixture)  
国連分類: 9  
容器等級: III  
海洋汚染物質: 該当  
緊急時応急措置指針番号: 171

国内規制: 輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。

輸送の特定の安全対策および条件:

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

## 1 5. 適用法令

農薬取締法  
毒物及び劇物取締法: 毒物及び劇物に該当せず。

**労働安全衛生法**

表示対象物(法 57 条、施行令第 18 条) : 該当せず。

通知対象物(法 57 条の 2、施行令第 18 条の 2) : 該当せず。

**化学物質排出把握管理促進法(化管法)**

指定化学物質: 1-(2-クロロイミダゾ[1, 2-a]ピリジン-3-イルスルホニル)-3-(4, 6-ジメトキシピリミジン-2-イル) 尿素 (別名イマゾスルフロン : 第一種・管理番号 606)、2-[2-クロロ-4-メシル-3-[(テトラヒドロフラン-2-イルメトキシ)メチル]ベンゾイル]シクロヘキサン-1, 3-ジオン (別名テフリルトリオン : 第一種・管理番号 620)

**化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 (化審法)**

優先評価化学物質 (法第 2 条第 5 項) :

プロパン-1, 2-ジオール (通し番号: 106) を含有する。

**船舶安全法:**

危規則 船舶による危険物の運送基準等を定める告示 別表第 1 有害性物質

**航空法:**

告示別表第 1 その他の有害物件

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)(廃棄物処理法):**

産業廃棄物 (法第 2 条第 4 項、施行令第 2 条)

**16. その他の情報**

参考資料 : 安全データシート「キラリフロアブル」(協友アグリ株式会社 2022 年 11 月 21 日改訂)

本データシートの記載内容は、この化学品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。